

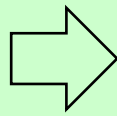
多品目栽培への転換と契約栽培による経営の安定化

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：（露地）葉たばこ、
にんじん

経営面積：150a



事業実施後

基幹作物：（施設）トマト60a、みつば15a

（露地）にんじん130a、キャベツ120a、
セロリ60a、ほうれんそう30a

経営面積：415a

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、平成12年に親から経営を受け継ぎ就農し、葉たばこ及びにんじんを栽培していたが、事業により安定した農業用水が確保できたことから、多品種栽培（トマト、みつば、にんじん、キャベツ、セロリ、ほうれんそう）へ経営転換を図るとともに、農地中間管理機構等を活用した農地の借り入れを行い経営面積の拡大を図っている。

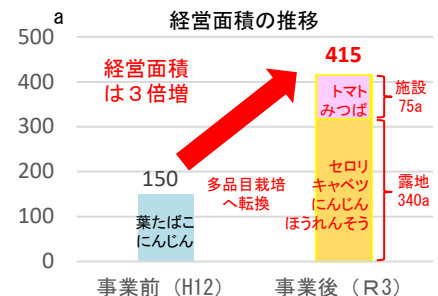
また、企業との契約栽培を行い経営の安定化を図るとともに、雇用を重視した農業経営を目指しており、地域の雇用創出にも貢献している。

営農改善のポイント

①規模拡大

事業により農業用水の安定確保と計画的な作付が可能となったことから、露地・施設野菜での多品目栽培に経営転換し、農地中間管理機構等を活用し経営面積を約3倍に拡大している。（事業前150a→事業後415a）

また、雇用労力を最大限活用するため、作付作物や規模を決定しており、地域の雇用創出にも貢献している。



にんじんの栽培状況



セロリの栽培状況



出荷先から準備された収納コンテナ

②流通・販売の工夫

出荷先は7割が企業であり、1品目に対し2～3企業と契約している。（3割はJ A出荷）

企業への出荷は、収納するのみのため、雨天時でもほ場で作業ができ、取引先が受け取りに来るため省力化にも繋がっている。

③担い手の育成について

常時、農業実習生を沖縄県本土から3名、外国から1名、パート4名の受け入れを行っており、植付けから収穫までのほ場管理や農業経営について指導を行っている。

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：糸満市、八重瀬町

受益面積：1,352ha

事業期間：平成4年度～平成17年度

事業目的：畑地かんがい

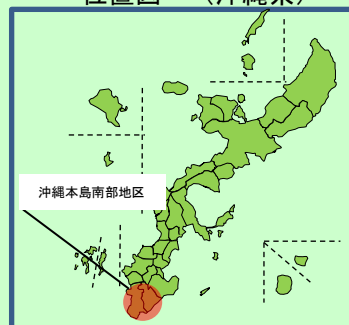
主要工事：地下ダム2箇所（総貯水量385万m³）

ファーム Pond 3箇所

揚水機場 2箇所

用水路 42km

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課

電話：098-866-1652

（令和3年調査時点）